

CFD の基礎から実用まで

CFD の躍進は目覚ましく船舶設計のみならず、あらゆる流体解析に用いられ性能推定ツールとして必要不可欠なものとなっております。本セミナーでは 2 名の講師を迎え CFD 理論の解説、CFD ソフトの最新動向について御説明して頂きます。

本セミナーは、自由に意見を交換しあい、皆様と一緒に勉強出来る場を目指しています。多数のご参加をお待ちしております。

— 記 —

第 321 回 KFR セミナー

■ 日時：2013年7月17日（水） 13:00～17:30

■ 会場：神戸大学深江キャンパス梅木Nホール

http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/map/campus_map.html（地図は裏面参照）

■ 参加費：無料，要事前登録

■ タイムスケジュール

13:00 ～ 13:05 開会挨拶

13:05 ～ 14:30 そうだったんだCFD(1)

勝井辰博 (神戸大学)

14:30 ～ 14:40 休憩

14:40 ～ 16:20 そうだったんだCFD(2)

勝井辰博 (神戸大学)

16:20 ～ 16:30 休憩

16:30 ～ 17:30 汎用CFDコードを用いた最近のCFD解析について

藤山敬太 (クレイドル)

17:30 ～ 閉会挨拶

そうだったんだCFD —保存系の支配方程式からカップリングまで—

勝井辰博 (神戸大学大学院 海事科学研究科)

さまざまなシーンで使われるCFD。OpenFOAMのようなフリーのオープンソースCFDコードまで登場、インターフェースも成熟し、だれでも使えるCFDの時代になりつつあります。学部時代に「流体力学」は履修したものの、身に着けた流体力学の知識とCFDとの間に距離を感じながらCFDソフトウェアをお使いになっている方も多いのではないのでしょうか。そんな「流体力学」と「CFD」の本当にちょっとしたギャップを埋められるような講演をお届けしたいと思います。流体力学を履修した学部生、大学院生、若手の技術者の方々の「そうだったんだ！」の声をお聞きできれば幸いです。

汎用CFDコードを用いた最近のCFD解析について

— 船用プロペラの性能予測とキャビテーション発生予測 —

藤山敬太 (株式会社 ソフトウェア・クレイドル 技術部)

昨今、CFDによる解析技術やコンピュータ環境は飛躍的に向上しています。船舶海洋分野でも、これまで実行不可能であったものや可能であっても精度が不足していたものが、実用的なコスト・精度で解析可能となってきています。本講演では、最近の汎用CFDコードによる解析事例として、船用プロペラの効率性能予測とキャビテーション発生予測について解説を行います。また、CFD最適化手法を用いた形状設計など、最新のCFD動向についても事例を通して紹介します。

ご参加のお申し込みは、7 月 11 日（木）までに下記連絡先までお願い致します。

連絡先：関西船舶海洋流体力学研究会（KFR）事務局
新井 大介（サノヤス造船）

TEL：086-475-1071 FAX：086-475-1611

E-mail：miz-sdil@sanoyas.co.jp

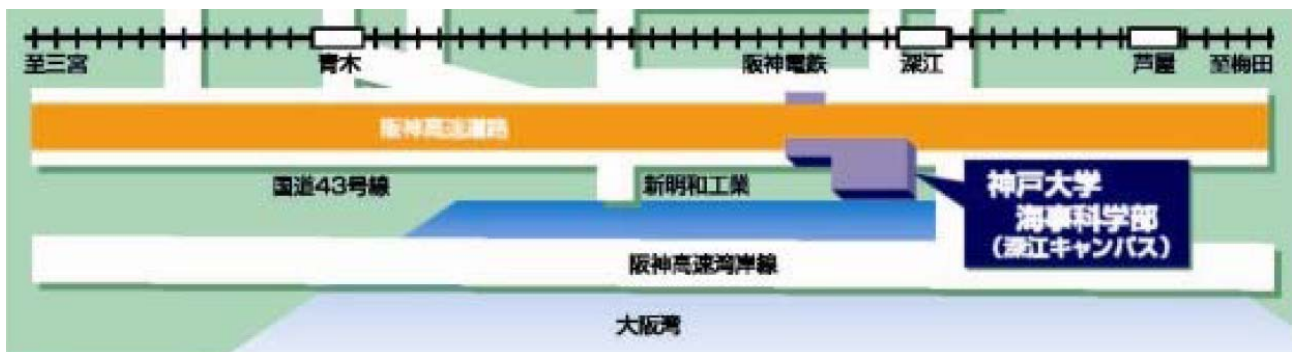
会場までのアクセス

阪神電鉄阪神本線「深江駅」より徒歩5分

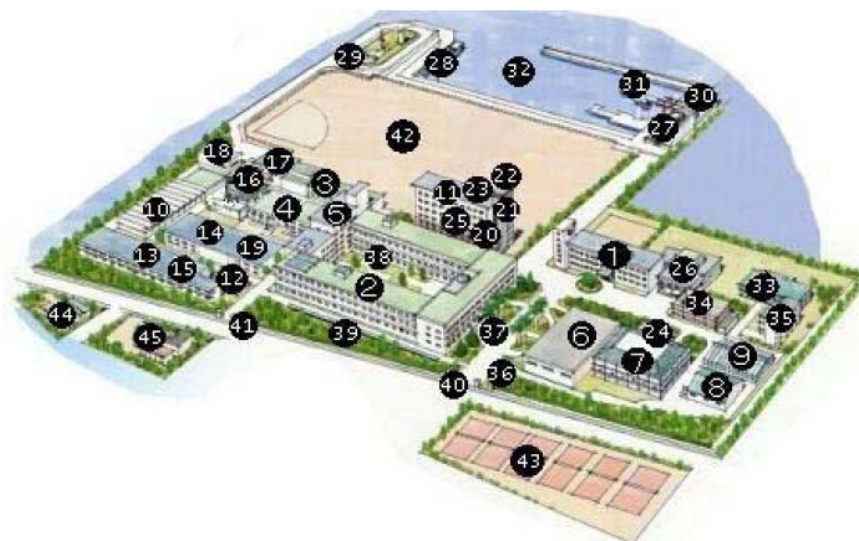
JR東海道本線「芦屋駅」よりタクシー7～10分

JR東海道本線「甲南山手駅」より徒歩20分または神戸市営バス5分

JR東海道本線「住吉駅」より神戸市営バス白鷗橋下車10分（ただし本数少ない）



キャンパスマップ



21. 梅木Nホール、40. 正門、41. 東門、42. 運動場、43. テニスコート

以上